

市民参加と協働のあんしん歩行エリア

本整備計画を実効的に推進していくためには、市民と行政が計画実現に向けた役割を担い、「市民がいつまでも暮らせるまちづくり」を共通の目的としたパートナーシップを形成することが必要となります。

そのためには、住民、行政の相互理解、連携体制の確立などの協働システムづくりが大切です。

市民のみなさんには、あんしん歩行エリア事業の目的と意義に関する適切な理解と協力が必要であり、さらに事業への積極的な参加が求められます。また行政は、地元住民の理解と協力のもと、事業を推進していきます。



古川地区あんしん歩行エリア整備計画の策定

本整備計画は、エリア内の市民、各種団体、道路管理者、警察関係者で構成する「古川地区あんしん歩行エリア懇談会」を組織し、策定しました。

■整備方針

小学生の通学の安全性を確保するため、歩道整備や路肩着色により通行空間の確保を図ります。

観光客の安全性・利便性を確保するため、通行動線の明確化を図ります。

■経緯

第1回懇談会
(H22.10.27 (水) 開催)

- ・主旨説明
- ・スケジュール説明
- ・地区内危険箇所の抽出

第2回懇談会
(H22.11.25 (水) 開催)

- ・タウンウォッチング
(地区内危険箇所チェック)
- ・地区内の課題・問題点整理

第3回懇談会
(H23.2.28 (月) 開催)

- ・整備方針の策定
- ・整備計画の策定

平成 22 年度

平成 23 年度以降

整備計画公表・周知

整備計画の実施

■懇談会メンバー

【氏名】	【所属名】
古里 教浩	地元地区代表(15区)
小枝 利治	// (16区)
倉坪 茂忠	// (19区)
板橋 貴代司	// (20区)
谷口 洋吉	// (21区)
柴田 駿一	// (22区)
菅沼 明彦	飛騨市市議會議員
新井 學	朝霧連合会(老人クラブ)事務局長
渡辺 真佐子	古川町女性会副会長
森下 光保	飛騨地区交通安全協会古川第一支部長
上休場孝幸	古川小学校校長
森下 憲一	古川小学校PTA会長
藤田 勝敏	飛騨警察署交通課長
熊崎 伸之	岐阜県古川土木事務所道路維持課長
青木 孝則	飛騨市基盤整備部都市整備課長
水上 雅廣	飛騨市基盤整備部建設課長

敬称略、順不同



お問い合わせ先

飛騨市 基盤整備部 建設課
〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2番22号
電話 0577-73-3936 FAX 0577-73-7500
E-mail kensetsu@city.hida.gifu.jp

古川地区あんしん歩行エリア

整備計画

安全で安心な道路空間を目指して
～子供たちや観光客の安全な歩行空間の確保～



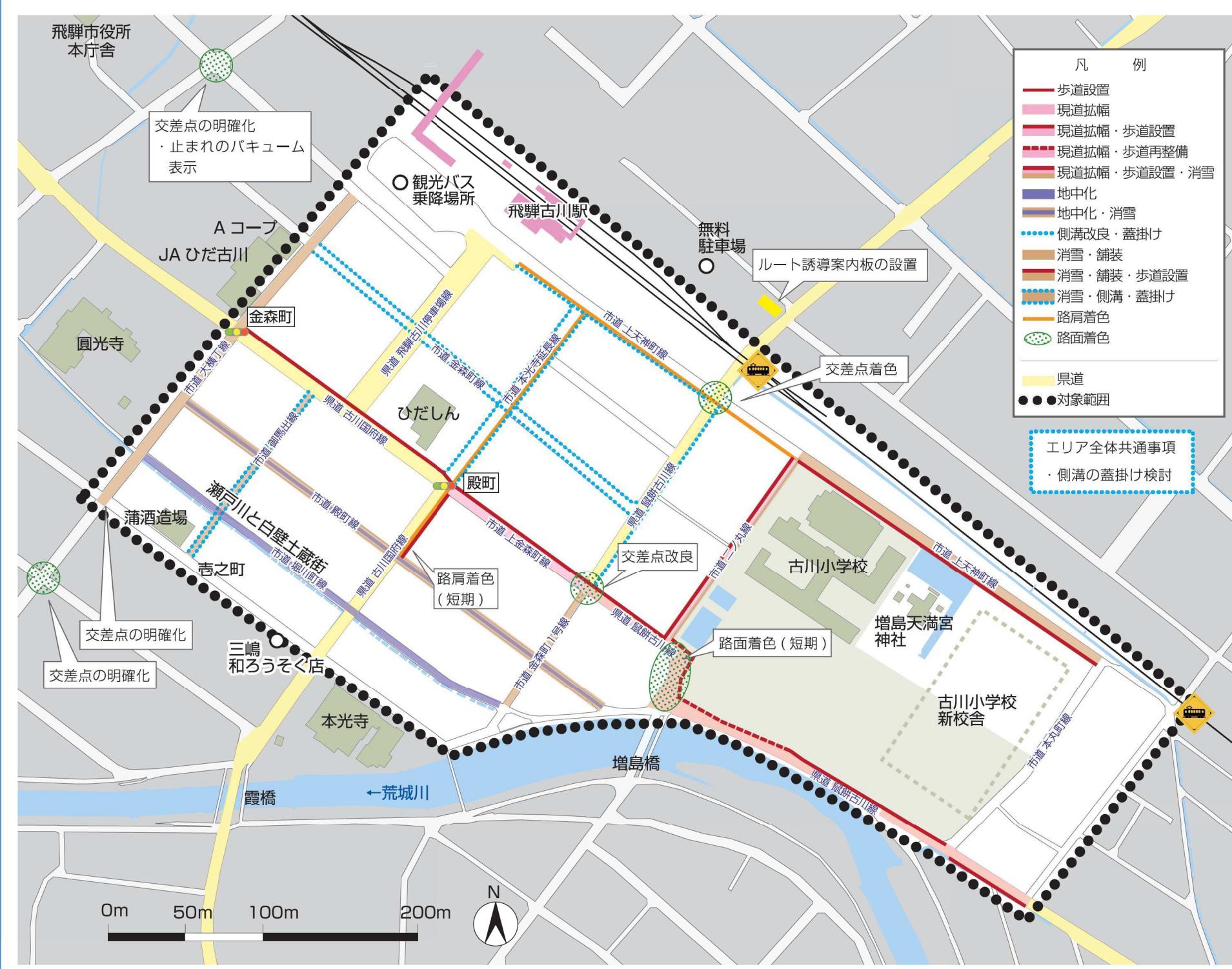
？あんしん歩行エリアとは

警察庁と国土交通省は、交通事故の多い住居、商業地区のうち、緊急に交通事故の削減対策が必要な箇所を「あんしん歩行エリア」と定め、古川地区もその一つに指定されました。

あんしん歩行エリア内では、都道府県公安委員会と道路管理者が連携して、面的かつ総合的な死傷事故抑止対策を講じることにより、死傷事故を約2割抑止するとともに、そのうち歩行者または自転車利用者に係る死傷事故を約3割抑止することを目指しています。

飛騨市

整備計画図



今後のスケジュール

整備計画として表示している路線や箇所のうち、すでに整備が進んでいる路線がありますが、平成23年度からは本整備計画に従い、随時整備を進めていく予定です。

また、本整備計画については、単年度ごとの進捗状況の報告と、整備が完了した時点において効果の検証を実施する予定です。

【凡例の説明】

歩道設置
現道拡幅
現道拡幅・歩道設置
現道拡幅・歩道再整備
地中化
側溝改良・蓋掛け
消雪・舗装
消雪・舗装・歩道設置
消雪・側溝・蓋掛け
路肩着色
路面着色

縁石等によって車両と歩行者等を分離し、安全な通行空間を確保する
車道幅を拡幅して2車線確保する
車道幅を拡幅して2車線確保し、歩道を設置することによって安全な通行空間を確保する
車道幅を拡幅して2車線確保し、歩道を再整備することによって安全な通行空間を確保する
地上にある電線や電柱等を地中化し、景観を向上させる
側溝を改良して蓋掛けを行い、安全性の向上を図るとともに、通行空間を確保する
消雪施設を設置するとともに、舗装を再整備する
消雪施設を設置するとともに、歩道を設置する
消雪施設を設置するとともに、側溝の改良・蓋掛けを行い、安全性・利便性の向上を図る
路肩を着色し、通行区間を明確にするとともに、ドライバーに注意・喚起を促す
路面を着色し、視覚的に注意を促す

古川地区あんしん歩行エリア 危険箇所図



現況写真



整備イメージ

